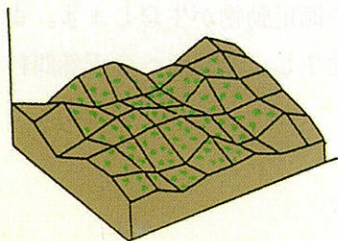


# 磯焼け地帯の機能回復システム

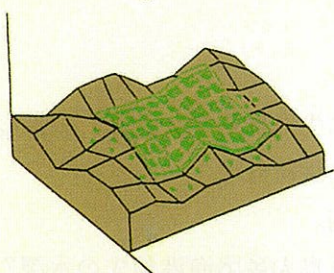
研究会 海域環境保全技術開発

種 目 岩礁地帯の機能回復技術の研究

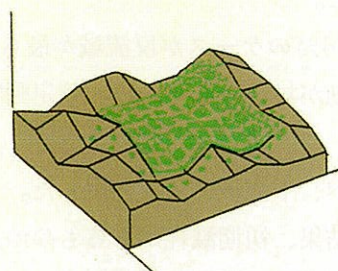
<磯焼け地帯の機能回復システムイメージ>



磯焼け



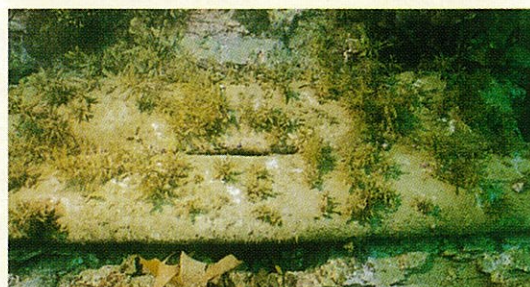
高機能藻場造成施設の設置



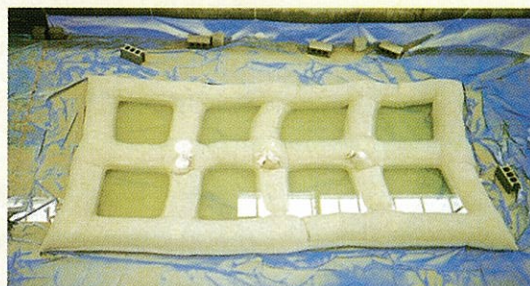
藻場回復→漁業生産性向上



種苗包埋カプセルにより生育したアオサ群落



高機能藻場造成施設（予備実験用）の表面に付着したホンダワラ類



高機能藻場造成施設（陸上水槽試験）



高機能藻場造成施設（研究実施海域に設置したもの）

## 事業概要

### ●事業の目的

磯焼けは、北海道から九州までの各地沿岸で起っており、深刻な問題となっている。

本事業は、磯焼けのみられる海域を対象とし、その生態系に配慮しながら、工学的手法の導入により、有用海藻類の群落を再生させ、漁業生産性を回復させる手法を確立するための指針を得ることを目的とする。

### ●事業実施期間及び内容……………平成3年度～平成7年度

平成3年度：磯焼けに関する知見の収集、研究の方向性の検討、研究実施海域の選定。

平成4年度：研究の方向性を ①植食動物除去技術の開発 ②特定海藻群落造成技術の開発 ③高機能藻場造成技術の開発とし、基礎実験を開始した。また、研究実施海域の環境条件の把握につとめた。

平成5年度：①研究実施海域において、植食動物の摂餌圧軽減により藻場を回復できることを確認した。

②平成4年度作業①～③にかかる基礎実験を継続した。

平成6年度：磯焼け地帯の機能回復システムとして、研究実施海域に高機能藻場造成施設を設置し、その機能の確認を行った。

### ●高機能藻場造成施設の仕様

●特定海藻種苗包埋カプセル：接着剤で施設にとりつける。

●植食動物侵入防御装置：侵入防止網侵入防止ブラシ。

●高機能藻場造成施設：4.5m×4.5m格子状、ポリエステル布材による型枠にコンクリートを充填。

### ●特徴と性能

起伏のある海底に広範囲に設置が可能であり、特定の海藻を確実に生育させ、そこでの植食動物の摂餌圧を低減させることなどにより、磯焼けを解消させることができる。これにより形成された藻場を基盤として、アワビ、サザエ等の漁業生産性を高めることが期待される。

### ●種目参加会員……………\*旭化成工業(株)、関西ペイント(株)、(株)間組、泰東製綱(株)、長崎県 \*幹事会員

### ●協力機関……………長崎県豊玉東部漁業協同組合